

「有意義な夏休みを過ごすために」

生徒指導主事
岡崎 克史

先日17日、夏休みを前に高岡警察署地域安全課の木暮さん、中田駐在官の岩田さん、中田地区警察ボランティアの森田さん、県警マスコットの立山くんをお招きし、『万引きの防止』をテーマに防犯教室を行いました。立山くんとクイズをしながら、万引きをすることはもちろん、万引きをする仲間になること、人に万引きをさせること、万引きした物を(知っていて)もらうことも犯罪になることを学びました。また、DVDを見て万引きをした子の親の気持ちや万引きをした子のその後の姿について考えることで「万引きは絶対にしてはいけないこと」という思いを強くしたようでした。



中田小学校では日頃から、用事がないときはお店への出入りはしないことやお金の大切さ、使い方についての指導をしています。ご家庭でもこの機会に「万引きは絶対にしてはいけない」ことを話題にし、家族で話し合ってみてください。

さて、もうすぐ夏休みが始まります。今年の夏休みは37日間で、子供たちはとても楽しみにしています。夏休みが始まるこの時期、いつも思い出すことがあります。今から20年以上前の話ですが、少しここで紹介したいと思います。

2学期始業式の日、6年生のAくんは朝から落ち着きがありませんでした。とても眠そうでイライラし、1時間いすに座っていることもままなりません。1学期の終わりはそんな様子は見られなかったのですが、担任の私はAくんの姿に違和感を感じていました。夏休みの提出物を調べているとき、その原因が分かりました。Aくんは夏休みの間に1回もラジオ体操にもプールにも行っていませんでした。宿題はとりあえずやってありましたが、生活リズム自体崩れてしまい、ゲーム三昧の日々を送っていたのです。2学期が始まり、徐々に早起きしたAくんの体調はよくない上に、自分のしてきたことに自信がもてず、その後もずっと落ち着かない、自分に自信の持てない毎日を送りました。やっと以前のAくんに戻ったのは3学期でした。夏休みの失敗を取り戻すのに4か月以上かかったこととなります。Aくんは2学期の間、とても苦しい思いをしたようです。

子供たちにとって平凡な毎日を計画通りに普通に過ごすことがとても大切なことではないかと思えます。ひとつひとつの小さな「できた」が子供の力になり自信につながるのです。保護者の皆様にとって、子供たちの「できた」をたくさん見付けられる夏休みになることを願っています。子供たちにとって安全で健康で有意義な夏休みになるようにご支援をお願いします。

お知らせ

本年度、「学校環境緑化事業」として、「とやま緑化推進機構」からの援助が決定しました。全国で約60校の中、富山県では3つの小学校が選定されました。

その支援を受け、8月上旬から前庭にある「あしつき池」の改修工事に入ります。トミヨや水生植物等が生息するこの池の水漏れが激しく、これまで随時修理を繰り返してきたからです。

今後、児童が気軽に池を覗き、さらに地域に生息する動植物に親しみを感じるようになって欲しいです。



